

『歩く県道・東松峠（越後街道）』

地域づくりニュース Vol.2

第2回「歩く県道（東松峠）」利活用検討会を開催しました。10月5日・6日に行った街道修繕の実証実験の検証と、これからの街道整備の方法について意見交換を行いました。東北芸術工科大学の学生のみなさんが話し合いに参加し、地域住民や関係自治体と一緒に今後の地域づくりについて考え、有意義な検討会になりました。

第2回利活用検討会の開催概要

平成25年11月23日（土）午後1時より 東松公民館にて

- **参加者** 東松峠を守る会会員、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、会津坂下町役場 会津若松建設事務所企画調査課 合計18名
- **話し合われたこと**

実証実験を振り返り、施工方法や管理の仕方等について検討を行いました。

道普請に参加した感想をお伺いしました。

これからの街道整備の方法について、補修の仕方や管理の手順・役割分担について話し合いました。



実証実験の振り返りを行いました

- **参加人数** 10月5日…44名 10月6日…37名
東松峠を守る会、地元消防団、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員、福島県、会津坂下町役場の皆さんに参加していただきました。

作業終了後の記念写真



作業を終えた達成感の中で撮影

● 道普請で行った作業

- ◆ 道幅を広くするために山側を掘削し、谷側を石積や丸太で土留して路肩を安定させました。
- ◆ 歩行時の安全性や景観性を向上させるために粗朶柵そだを作りました。
- ◆ むかみを改善して歩きやすくするために、山側側溝と横断側溝を施工して水はけを良くしました。
- ◆ 洞門前広場の樹木の伐採を行い、終着点の雰囲気を作りました。
- ◆ 資材の運搬や掘削、丸太の打込み等作業はすべて人力で行い、材料もできる限り施工箇所周辺の石や木を地元の協力を得て使用しました。

粗朶柵の施工

丸太土留工の横木取付

横断側溝の施工



石積工と道路掘削作業



5人で力を合わせ、しっかりと編み上げました



安定させるため番線で固定しました



碎石を充填して完成

検討会で出された意見・感想をご紹介します

● 実証実験の検証について

- ◆ 丸太柵の土留は、杭をもう少し深く打ち込んで安定させたいと思った。石積工は足場が不安定な場所での作業だったので、今後は安全についても配慮する必要がある。
- ◆ 学生が中心となって施工した粗朶柵は、地元の人との協力を得て無事に完成させることができた。粗朶柵を設け道幅を広げる事で、安全になり景観的にも良くなった。また、柵がその場所から見える景色に意識を向けさせるポイントとなる物に仕上がったと思う。
- ◆ 石積を行った事により、木杭による施工が中心だった道に風情が出た。構造的にも強い施工方法だと思う。今後、洞門の石を資材として施工を行っていく事も可能だと思う。
- ◆ 今回の石積工は学生を中心に作業を行った。今後は地元の人達と石の積み方について一緒に考え、協力して作業を行っていききたい。
- ◆ 丸太土留工や横断側溝の施工等、何度か経験している作業は効率よく出来るようになった。粗朶柵は、秋に材料となる枝を確保し、雪解け後の春に施工するのも良いと思う。
- ◆ ウォーキング大会に参加した時に、横断側溝が機能して水はけが良くなっていると感じた。
- ◆ 施工した箇所について、雪による影響等を経過観察し、今後の施工方法に活かしたい。

粗朶柵施工後の現地の様子



粗朶の採取、枝払い



石積施工後の現地の様子



● これからの街道整備の方法について

- ◆ 今後、地域の人々が主体となって街道の維持・管理を行っていくにあたり、行政や学生のかかわり方や役割分担を考えていく必要がある。
- ◆ 護る会では新道と旧道の管理の外に、束松・ひこ束松等の管理も行っている。護る会として出来る限りの事は行うが、管理を継続していくのは大変だと思っている。県や会津坂下町役場の協力も得ながら作業を行っていききたい。
- ◆ 県としても会津坂下町役場と話し合いながら、可能な支援をしていきたい。
- ◆ 学生としては、専門的な知識を活かして作業の働き手になり、地元の人と意思の疎通を図りつつ、道普請を継続していけるように手助けをしていきたい。また、地元の人とは別の視点で考えを提案する事ができると思う。
- ◆ 地元消防団等の若い世代がどうかかわっていくのが課題。学生の参加は地元の若い世代のかかわり方の参考になると思う。

次回の検討会では、越後街道（束松峠）を活用した地域づくりについて話し合いを行います。来年度からの取り組みについての計画を作り、次の活動に繋げていきたいと思っております。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459